

基調講演

住み続けたい町つべつ

2月17日、まちづくり・地域おこしフォーラムを開催

18歳以上の人口流出は全国的なこと

今日の私の役割は他所の人間として話をする、津別に時々来ている人間としてもものをいうということではないかと思えます。

津別町議会は、開かれた議会・身近でわかりやすい議会を目指して研修を積み重ね、2年前の「議会改革フォーラム」に始まり自治会連合会や若者との意見交換会の実施、議会のインターネット化と、双方の理解を広げる努力をしてきました。また、先日は議会報告会を初めて行い、町民と議会の距離を縮める方策を探っているところで

さて、全国で人口が減っているのですけれど、人口は減っちゃいけないのでしょうか？人口がほしいのか、人によって支えられる町の仕事を何とかしたいのか、それとも税金、お金がほしいのか。こ

講師

新潟県立大学国際地域学部

准教授 田口一博氏



昭和37年生まれ。東京農大卒、放送大学大学院修了。横須賀市職員、公財・地方自治総合研究所常任研究員を経て平成22年から現職。

東京大学大学院、明治大学等の講師を兼ねる。専攻・議会学、行政学、政策学。

れは、ちよつと品のない言い方もしれませんけれども、一番初めに突き詰めて考えておかないといけないことなのです。例えば今、国では若者は大都市圏に来てもらいたい。高齢者は、地方部に行ってください。そんなことを始めていますよね。津別町に、老人保健施設とか、そのような施設ができる、中に入っている高齢者の方とほぼ同じ人数のヘルパーさんとか看護師さんだとか、お医者さんだとかを雇うことができる。千葉県の外房のほうに行くと、そんな緩和期の病院がたくさん立地しています。風光明媚な所に大きな病院をつくって、高齢になったご両親がそこに引っ越して来て、子どもたちは月に一遍ぐらい遊びがてらお見舞いに来る。女満別空港と千葉県の外房は羽田から見たら同じ距離にあるのであります。1時間ちよつとで来られ

る所なのです。お見舞いをして、遊んで帰ってというには絶対の場所です。津別の町、人口が減っていると云っているけれども、これは全国で減っているのです。東京都豊島区だって消滅すると言われていたのです。そのときに津別の町で人口が減るって、どういうことで何がいけないのか、また、それでいいじゃないかということだつて考えられるのです。人口が減っているのは全国のことなので、その中身の何が問題なのかということを考えていただきました。

住む場所を選べる時代

全国的に空き家というものがどんどん増えている。そういう空き家が増えているときに、どこに住むか。家があるから住む、そういうわけでもないのですよね。住みたいけれども職場がない、だから住

「住み続けたい町つべつ」



めない、津別はそういうこと
はないわけですから、そ
ういう町もあります。一方で、
住む場所はあるのだけれども
住んでくれない、これもあり
ます。私が今いる大学のある
新潟が割とそういう所です。
家はあるのだけれど買い物に
行く場所がない、遊ぶ場所が
ない、子育ての支援施設がな
い、これがない、あがない
という理由いろいろ発明しち
やって住んでくれない。これ
は実際に家があつてもだめな
んです。こういう問題を解決
するのは恐らく若い人たち、

若ければ若いほど給料が高い
というような方法にすると、
変わるはずで。

今婚姻年齢がどんどん上が
って、結婚する年代が上がる
だけじゃなくて、子どもを
くりたいと思う年齢が30代後
半になってきています。これ
はもう人間とはいえず生物で
から、時すでに遅しになつち
やたらいくら頑張つたつて
だめなのですよ。そのため
には、せっかく働く場がある
津別で、若い、働いて勤めて
いる人、それを優遇するとい
うようなことが考えられるの
じゃないでしょうか。

津別町の現状は

津別の町の固有の問題とし
ては、住む場所がないとい
うことです。民間事業者に頼
りたがっているような住宅開
連の補助事業なりを引っ張つ
てきて、つかまえるというよ
うなことは可能はずです。

しかし、住宅だけでは人は
住んでくれません。子育て環
境、特に教育環境の充実が大
事です。津別は、何を最初に
やるべきか。もし、大学や研

究機関を持つて来たいとい
う話だったら、小中高の教育を
しっかりやって、津別に行け
ば教育は大丈夫だということ
を、しっかりPRすること
でしょうね。

どうすれば住み続けら れるのか

今の津別で仕事をして、町
外から通っている人たちに、
どうしたら町内に住んでくれ
るのかという話を聞いて、そ
れを実現していくことのほう
が簡単はずです。まず、そ
れをやってみませんか？それ
が、今日のタイトル「住み続
けたい町」を実現することな
のです。今仕事があつて来て
いる人たちが、全国的にも非
常に恵まれた環境である津別
の町に仕事だけではなく住ん
でくれるためには、どうした
らいいかというのを、津別の
住民ではない、今日、この場
にはお集まりでない人たち
に、議会が出て行って意見を
聞く。有権者ではないかもし
れないけれども、どうすれば
住みたくなるのですか。何で
津別に住んでくれないのです
かというのをしっかり聞いて
みるのが一番初めだと思



います。そして、その人たち
が住んでくれば、100人でも
200人でも人口が増えれば、や
っぱり仕事ができるはずなの
です。多分そのためには、新
しい家は建てなければいけな
いでしょうね。どこに建てる
のか、どうやって建てるのか、
どんなふう誘導していけば
いいのかというのは行政の出
番です。その際には「住み続
けたい町つべつ」の実現のた
めに、津別町の良さが消えて
しまつてはいけません。住民
の人たちと行政や議会がしつ
かり議論して、こういう町で
いこうという線をだしておく
ことは大事ですね。